

南富良野短歌会

子に返りぬり絵している妻の手がしばし止まりてかすかな寝息
松本 清

祖父からの形見の鋸が一番と庭の枯れ枝小気味よく切る
山内 千代

湯豆腐でいいじゃないかと夫が言ふ夕べの厨に葱刻みをり
大野 孝子

求めても何度書いても奥深し遅々と進まぬ我が書の腕は
山田 千代

をちこちに雪残りある川岸の柳の梢のほのかに青める
橋見 さえ子

七十路坂半ばを過ぎしバーステイ夫と二人の猪口で乾杯
鍛冶場 涉子

彼岸明け真夏日となる道すがら行き交う車かぞえて歩く
小林 吉枝

西窓の下で土わりクロッカス、私は「こよ」と咲き初めし朝
後藤 敏江

過疎すすむ村に珍し鯉のぼり腹ふくらませ空を泳げる
相川 敏治

稲苗の萌ゆる季節をば想ひをりこつぜん逝きし弟愛し
津田 みね

慈しみみどり児のやうそつと触るペチニヤの稚苗かすかな成長
鈴木 文代

視野に入る吊り橋久しく渡らねど毎朝粉雪掃く人の見ゆ
三宅 スエ

庭の面も土出で赤黄と芽を吹くも名残雪覆いわれはかなしも
鈴木 セツ子

時折りは車行き交ふ国道に人影もなき街春の夕べは
阿部 巖

さわさわと一位を揺する春の風見知らぬ小鳥よつこそここに
大居 貞子

冬囲い解きいる庭に幾種もの小鳥囀るつららかな午後
菊池 仁子

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会へ

○幾寅 加藤敏夫様より故加藤進様への生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○下金山 山田剛様より故山田金次様への生前のご厚志に対するお礼として 三万円

一味園・からまつ園及び

ござくら園へ

○幾寅 伊藤和夫様
○幾寅 福士憲昭様



「ミズバショウ」



「オオハクチョウ」

- 幾寅 蓮田貴治様
- 幾寅 渡辺イチノ様
- 下金山 大木トシノ様
- 富良野市 石橋英明様
- 富良野市 及川久尚様
- 旭川市 太田美智子様
- 旭川市 塩ノ入幸吉様
- 旭川市 塩ノ入平八郎様
- 士別市 吉井令子様
- 東神楽町 永沼克三様
- 東川町 山崎時雄様
- 音更町 緑陽台歯科診療所様
- 浦幌町 大野健一様
- 雄武町 原田徳男様
- 猿払村 渡辺武様
- 札幌市 石王美知子様
- 札幌市 花王販売株式会社様
- 札幌市 佐藤茂夫様
- 札幌市 サンエスユニフォーム様
- 札幌市 島津淳様